

授業概要

この授業では、冊子体のレファレンスツールを使った探索方法を体系的に習得し、情報や文献探索能力を身に付けることを目的とする。そのため、レファレンスツールについて基本的な知識を学び、具体的なツールを使った演習を指導する。

演習では、割り当てられた模擬質問に対して各自調査を行い、調査結果について簡潔にまとめ、発表を行う。

授業計画

第 1 回	レファレンスサービスとは
第 2 回	情報探索の技法
第 3 回	レファレンスブックの情報源
第 4 回	言語・事物・概念情報の探し方（1）探索方法とツール紹介
第 5 回	言語・事物・概念情報の探し方（2）発表と解説
第 6 回	人物・企業・団体情報の探し方（1）探索方法とツール紹介
第 7 回	人物・企業・団体情報の探し方（2）発表と解説
第 8 回	地理・歴史情報の探し方（1）探索方法とツール紹介
第 9 回	地理・歴史情報の探し方（2）発表と解説
第 10 回	図書情報の探し方（1）探索方法とツール紹介
第 11 回	図書情報の探し方（2）発表と解説
第 12 回	新聞・雑誌情報の探し方（1）探索方法とツール紹介
第 13 回	新聞・雑誌情報の探し方（2）発表と解説
第 14 回	レファレンスインタビューの技法と実際（1）インタビューの実施
第 15 回	レファレンスインタビューの技法と実際（2）発表と解説
第 16 回	

到達目標

様々なレファレンスツールについての知識を深め、それらを使った情報探索及び回答ができるようになることを目標とする。

履修上の注意

「情報サービス論」を履修済みであることが望ましい。

この演習は通年科目であり、上記授業計画は科目の半分のものとする。

この演習では図書館での作業や、授業時間外での作業を要する。

遅刻は授業開始 30 分までとし、それ以降は欠席と見做す。

予習・復習

担当問題の実施をもって、授業の復習とする。

評価方法

記録票（課題）96%

授業態度 4%

テキスト

- ・教科書名：『情報サービス演習』
- ・著者名：中山愛理編著
- ・出版社名：ミネルヴァ書房
- ・出版年（ISBN）：2017 月 1 月（ISBN978-4-623-07836-3）